

# 監査可能なAIエージェントの構築

特許調査業務における生成AIの戦略的統合とリスク管理パラダイム



知財戦略コンサルティンググループ  
2026年6月5日

# 特許調査の3段階進化モデル



## 従来型調査

人が検索し、人が読む

課題：属人化・大きな工数・検索者間のバラツキ

## 生成AI調査

AIが一次処理、人が確認

強み：工数削減・標準化・若手支援

## AIエージェント型調査

AIが自律反復、人が「監査」

強み：網羅性・継続監視・調査ログの自動化

# ブラックボックスの解体：島津製作所の「暗黙知」プロンプト化

生成AIの真の価値はチャットボットではなく、  
「ベテランの判断基準・除外基準の形式知化」にある。



他社特許スクリーニングの手作業

**90%削減**

発明届出業務工数

**50%削減**

年間外部コスト削減

**8,000万円**

# AIのスケールと人間の責任：Human-in-the-Loop

## AIの役割（探索的推論）

- 圧倒的な処理速度
- 網羅的な広域検索
- 同義語と異表現の探索
- 膨大な情報の要約と一次評価



## 人間の役割（法的責任）

- 正確性と証拠性の検証
- 法令遵守と倫理性の担保
- 説明責任 (World Patent Information 2025基準)
- 最終的な事業・訴訟戦略の決定

AIは「探索的推論」をスケールさせるが、「法的責任」は絶対に負えない。

# 新規性調査：AIによる「特徴抽出と直接的対比」



# 無効資料調査：深掘り探索と「進歩性否定」の論理構築

審査官の引用済み文献

非特許文献（NPL）・外国語文献

標準化文書・製品マニュアル・旧カタログ

## AIの深掘り処理

- ・対象特許の請求項分説
- ・引用済み文献との差別化・未探索領域の検出
- ・主引用例と副引用例の組合せ提案

## 人間の監査ポイント

発見された文献が証拠として使えるか。  
進歩性否定の論理構成が、実際の審判・  
訴訟で適用するかの戦略的判断。

# FTO（侵害予防調査）：最高リスクの広域レーダー監視

探す対象は「類似技術」ではなく、自社製品を包含し得る「抽象的な第三者の権利範囲」。

## AIの限界とFTOルール

- オールエレメントルール（全構成要件充足性）の厳密な判定はAI単独では極めて困難。
- WIPO指針: FTOツールは予備分析に有用だが、**最終判断は国ごとの詳細な法的分析と専門家の意見が必須。**

## AIエージェントの真価

製品設計変更や権利消滅に伴う「**継続的なリスクリンク監視・ダッシュボード更新**」としての活用。



# 【統合マトリクス】 調査類型別のAI適合性と法的リスク

	新規性調査	無効資料調査	FTO（侵害予防）
AI抽出・展開力	●	●	●（但し製品理解が必要）
AI対比表作成	●	●	●（クレーム解釈監査必須）
AIによる最終判断	○ 不可	○ 不可	○ 絶対不可
最終的な法的リスク	● 中	● 高	● 非常に高い

AIへの委任度は「作業の構造化可能性」と「事業・法的リスク」の反比例で決まる。

# デンジャージョーン：AIの死角と法的脆弱性



## ハルシネーション (幻覚)

存在しない文献番号、誤った引用段落の生成。



## 法的ニュアンスの欠如

均等論、間接侵害、判例法理など、高度な法的文脈の読解不足。



## ブラックボックス化

「なぜその文献を関連ありとしたか」だけでなく、「なぜその文献を除外したか」の根拠消失リスク。

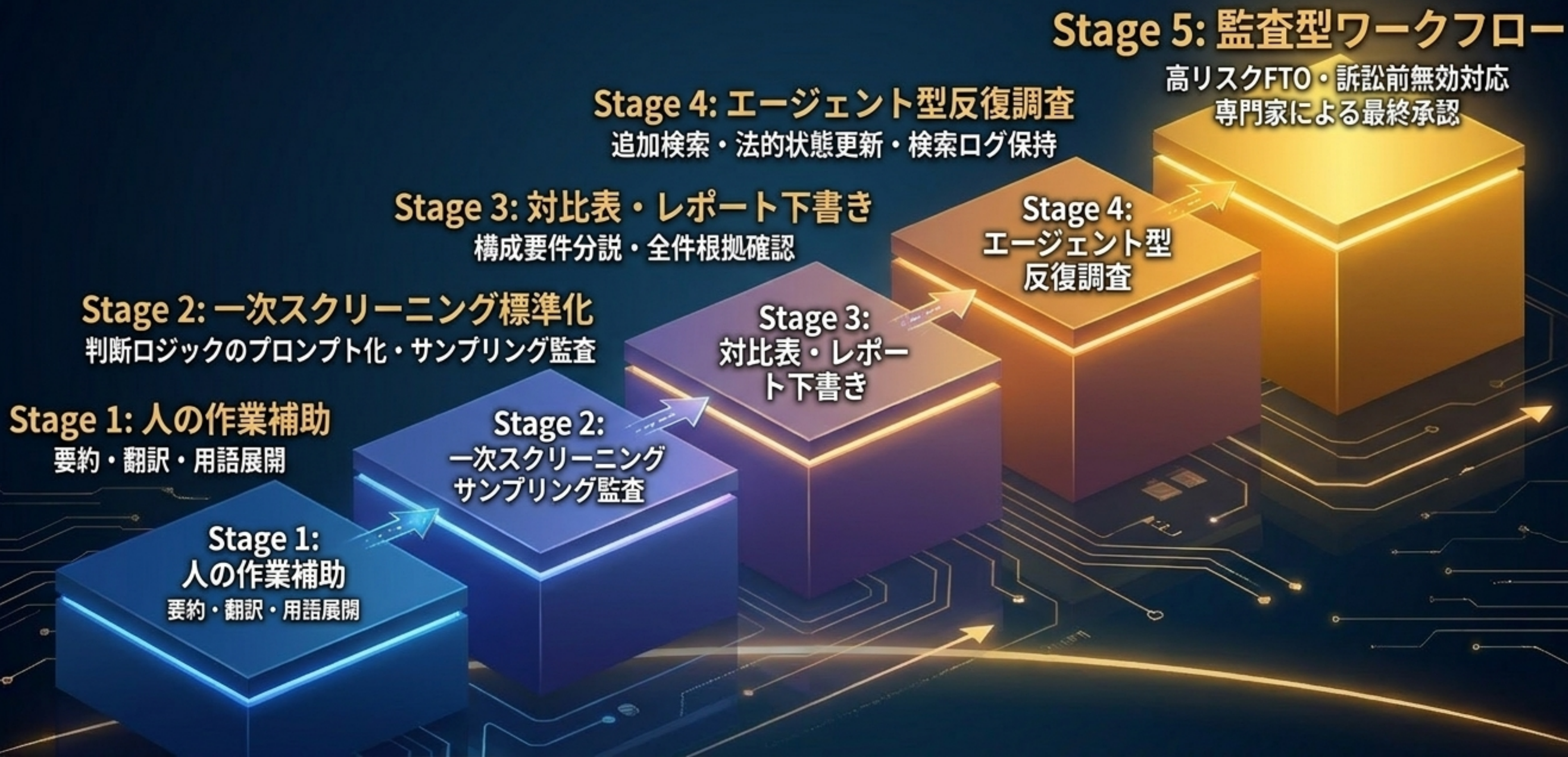
# 組織を守るシールド：監査可能なワークフローの必須要件

「出力結果」ではなく、「調査プロセス」を記録・保存する。

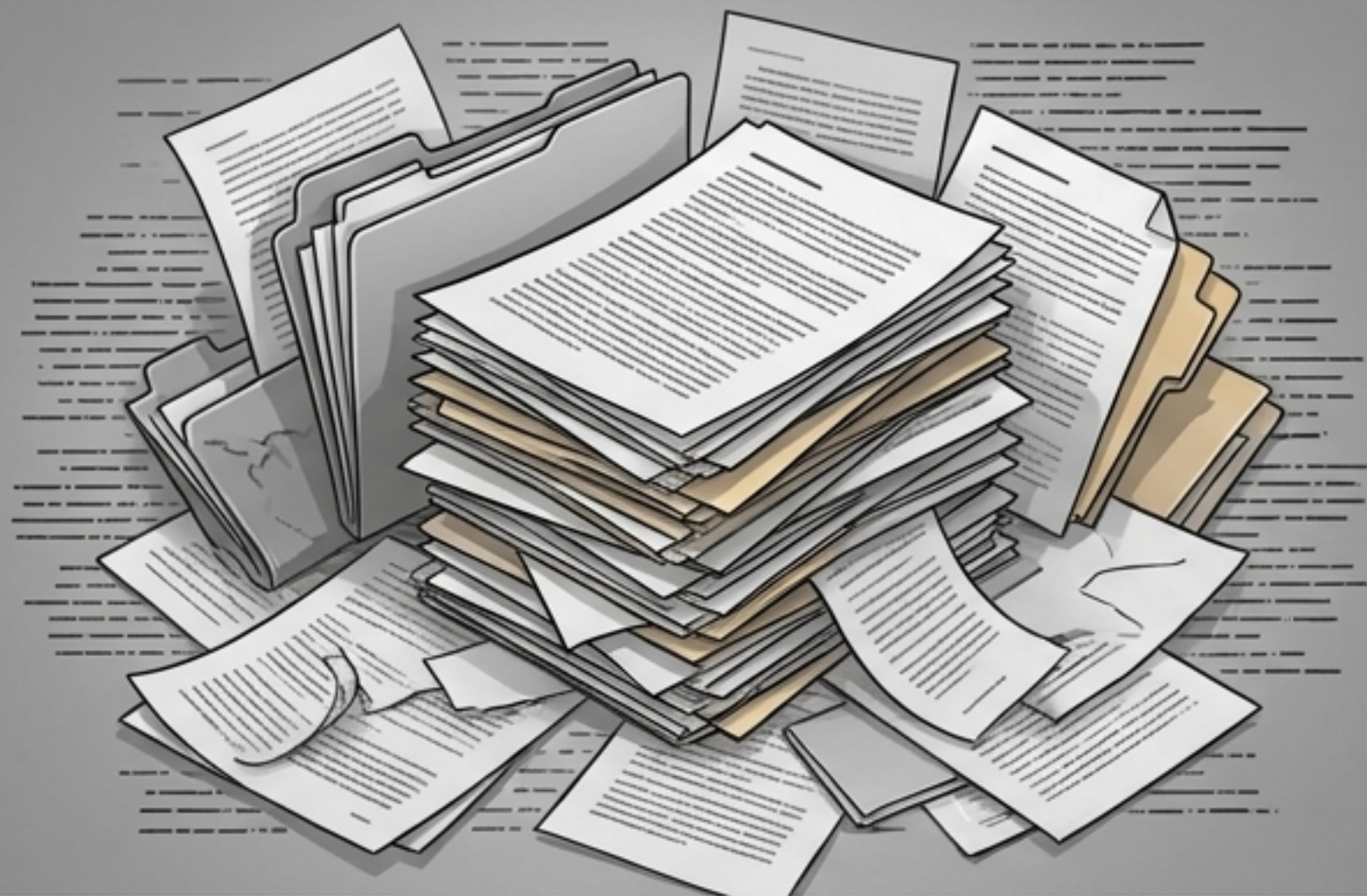


- ✓ **出典確認**：文献番号、URL、法的状態の实在証明
- ✓ **検索再現性**：使用した検索式、DB名、検索日、フィルタのログ
- ✓ **除外理由の保存**：AIが「ノイズ」と判定した文献の理由（訴訟時に極めて重要）
- ✓ **機密管理**：未公開製品仕様の外部AIへの投入遮断

# 実装へのロードマップ：5段階のAI導入アプローチ



# 結論：「検索者」から「戦略的監査者」への進化



## 過去のパラダイム

膨大な文献を読み込み、手作業で照合する  
「検索者 (Searcher)」。



## 新たなパラダイム

AIエージェントを指揮し、自らの暗黙知をシステム化し、  
法的リスクと事業戦略を制御する「監査者 (Auditor)」。

AI導入の成否は、システムの性能ではなく、「熟練者の判断ロジックの明示化」と  
「強固な監査プロセスの制度化」にかかっている。